

市区版タイムラインダッシュボードの取組について

令和5年3月13日
荒川下流河川事務所

市区版タイムラインダッシュボードの取組について

目的

流域治水の観点から、今後は、従来の荒川本川対応だけのタイムラインでなく、荒川下流域として「中小河川や土砂災害、高潮」等を含めたマルチハザードに対応できるものを目指す。

課題

- ①自治体は荒川だけでなく、都県管理河川、中小河川の他、土砂災害、高潮等に対応している
- ②自治体により対象河川、対象ハザード（土砂災害、高潮等）が異なる
- ③洪水予報、水防警報等の大量のFAX



対応策

- ①河川、ハザード毎で情報収集するものをなるべく統合化
- ②自治体で見られる情報をカスタマイズ
- ③洪水予報、水防警報、施設操作等の情報はFAXを確認するので無く、統合化した画面で簡単に確認ができるようにする



市区版ダッシュボードの構築

モデル自治体

埼玉県戸田市、東京都板橋区

市区版ダッシュボード構築に向けて

モデル自治体からヒアリングを実施